

2018年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 フランス語圏文化学科 3年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 パリ第7大学（パリ大学）、Lettres et Arts
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年09月01日～2019年06月30日 出国日 2018年 08月 30日 最終帰国日 2019年 07月 31日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初は様々な手続きや海外生活への適応に時間を割き、勉強するのに適した環境とは言えませんでした。生活するうちに学ぶことも多くあり、忙しいながらも充実した日々を過ごせていたように思います。生活の中で様々な人と会うことで、留学前にはあまり意識していなかったことに気づかされることや、外国人から見た自国へのイメージや偏見を知ることができとても貴重な体験ができました。また、フランスの学生は日本人学生より勉強していて、僕ももっと勉強するべきだと刺激されました。勉強の内容に関しても、自分の専攻分野にとらわれずより広い分野について、政治や経済、社会情勢などさまざまなことを学ぶべきだと思いました。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

とにかく語学のレベルです。特にリスニング力が大切だと思いました。留学前は現地で語学力が自然に身につくだろうと軽い気持ちでいましたが、留学後の今では留学前の基礎力がもっと高かったら、今よりもさらに上達していただろうなと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

授業に関しては、文系の授業が種類豊富にあり、学習院大学にはない興味深い授業がたくさんありました。ただし、講義系の授業だとレポートの提出がかなり頻繁に課せられるので、授業を履修しすぎてしまうと単位の修得はかなり難しいと思います。また、僕が履修した授業の教授は、授業終了後にこちらから質問に行くととても丁寧に答えてくれました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパスは日本の大学に比べると校舎やトイレがかなり汚いです。トイレの便座が取り外されていることが多々あります。また、パリ大学には校舎がいくつもあり、建物の造りがとても複雑なので、最初の頃はどこの建物に行けばよいのかよく分からず教室になかなかたどり着けませんでした。

セキュリティに関しては、校内の中庭に誰でも出入りができるため、ホームレスが学食内やカフェの中に入ってきて物乞いをする場面によく遭遇しました。ただ、その人たちは危害を加えてくるわけではないので、あまり危険ではないと思います。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

大学内の留学生専用のカリキュラムとして無料の授業が、週に2コマ取れました。各授業2時間ずつで、文法・コミュニケーション・作文から2つ選べました。授業内容は先生によって異なります。履修の仕方は、インターネット上で簡単なレベル判定テストを受け、その後ネット上で履修の登録を行います。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

国際交流センターが CROUS の学生寮の空きを探してくれます。留学前に寮が確保できなかった学生でも、渡仏後、国際センターの担当の方に尋ねてみると空き部屋が見つかったりします。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

郊外に近い地域に大学が位置していますが、特に危険は感じませんでした。何人かホームレスが駅構内や大学周辺に住み着いているだけで、比較的 안전한地域です。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

国際センターのアジア圏留学生担当の職員は一人なのですが、担当している留学生の数が相当多いので、メールをしても返信は基本的に返ってきません。そのため、何か質問があるときは直接訪問するほうが早いです。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
映画分析 (4)	
美学 (4)	
ジャグリング (2)	
コミュニケーション(2)	
作文(2)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 アパート ホームステイ その他 ()

(2) 家賃

アパート 月額 (現地通貨) 約 750 € 、(日本円) 約 9万5千 円
学生寮 月額 (現地通貨) 約 400 € 、(日本円) 約 5万 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) 自炊 その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 自転車 バス 地下鉄 その他 ()、計 40 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

最初の4か月間は日本人の仲介会社を介してアパートを借りましたが、家賃がかなり高かったです。ただ、立地は15区だったためかなり安全でした。

後期から引っ越した学生寮は、アパートの家賃の半分くらいで部屋の広さも22平方メートルあり、かなり快適でした。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 船舶 その他 ()、(日本円) 約 20万 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 650€ 、(日本円) 約 8万 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード クレジットカード 国際ブランドプリペイドカード
現金 その他 ()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

基本的にクレジットカードがあれば支払いができたのでとても楽でした。ただ、現金しか使えない場面もたまにあるので、いつでもキャッシングできるカードを用意しているとよいと思います。

(5)「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳
30万円（渡航費、保険）

5. 保険について

(1) 保険会社名

ジェイアイ傷害火災保険

(2) 保険料

14万円

(3) 加入した保険の種類、内容

ヨーロッパ旅行保険（治療費、賠償責任、歯科など）

(4) 感想、良かった点・悪かった点

万が一、旅先で不測の事態が起きたとしても保険会社が金銭面の負担をしてくれるので、安心して旅行ができました。ただ、長期の滞在に備えて歯医者の治療費負担のオプションをつけたものの、一度も保険を利用しなかったのが帰国したときに損をしたように感じました。そのため保険は最低限のものだけを選択して加入するべきだと思いました。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 船便 SAL便 航空便 海外宅配便 その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

洋服、箸

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

お菓子、文庫、水筒

(4) 持って行けば良かったと思う物

レトルトのカレー、のりの佃煮、お茶のパック、お茶漬け、ふりかけ

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

日中は基本的に大学の授業に出て、授業間は大学の中庭やカフェで友達と時間をつぶしていました。放課後は買い物をしたり、映画を見たり、図書館で勉強したりと好きなことをし

て過ごしていました。

(2) 週末

金曜日の夜は、大学近くのセヌ川のほとりで開かれる日仏交流会によく参加していました。基本的にパリ大学のフランス人学生と日本人留学生の交流がメインなのですが、他大学に留学している日本人学生や他大学のフランス人学生がうわさを聞きつけてやってきていたので、毎週新しい人と知り合えました。

週末は家の近くでマルシェが開かれていたので、魚や肉を仕入れて家で料理していました。

8. 後輩へのアドバイス等

パリは人と出会う機会が豊富にある街なので、いろいろな人と交流してみると充実した留学生活が送れると思います。ただ、観光名所の付近はスリが多いので注意が必要です。

日本のクレジットカードをメインに使う場合は、あらかじめ上限を上げておくと便利です。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。